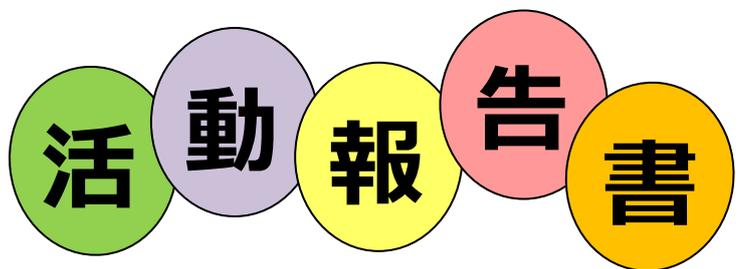
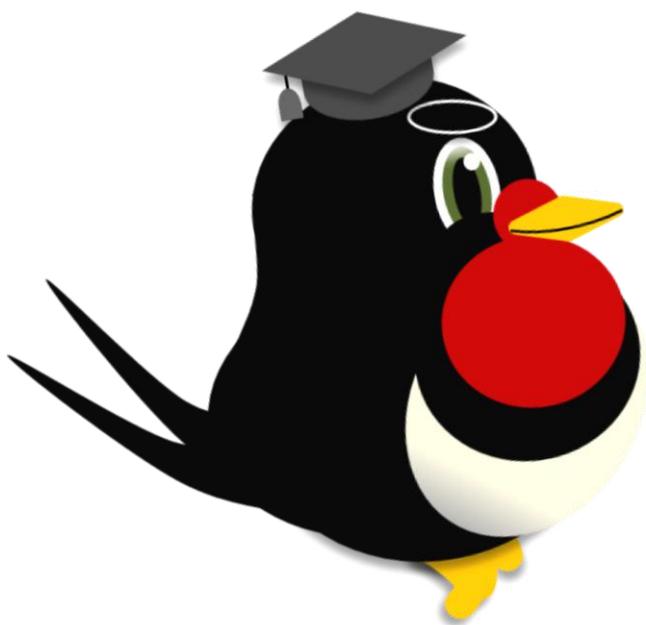


平成 30 年度  
羽ばたけつばくろ  
応援事業



燕市教育委員会

## ～小学生から20歳までのみなさんの『夢』を募集します～ 羽ばたけつばくろ応援事業

燕市では、若者の主体的な活動を応援する、「羽ばたけつばくろ応援事業」を実施しています。

対象は、「燕市に住所を有する高校生から20歳までの個人」または「燕市に住所を有する小学生から20歳までの者が代表となる団体・グループ」とし、将来を担う人材の育成を目指します。

若者が将来なりたい自分を設計し、実現するための自己啓発、体験活動、学習、研究、視察などの活動や、地域で取り組むイベント、地域活動など社会参画事業の企画を募集し、個人は10万円、団体は25万円を限度にして補助を行います。

若者たちの「達成したい目標」、「叶えたい夢」、「住んでいるまちをもっとよくしたい」の実現に向け一歩踏み出すきっかけづくりを応援していきます！

なお、本報告書は、2月16日に開催した「羽ばたけつばくろ応援事業成果報告会」における6団体の活動報告の概要を取りまとめたものです。

### ●審査委員長 新潟青陵大学 岩崎 保之教授による講評



夢を持った若者を支援するこの素敵な取り組みが、今日こうして成功を迎えることに審査委員長として、ほっとすると同時に嬉しく思います。

皆さんは、出会った人やその人達から学んだ事という視点で発表していました。その人達というのは、思いや願い、あるいは高い志を持った人達でした。皆さんは、その人達から何かを学び近づきたいという思いや願いを持って、一年間学びを続けてきたのではないかと思います。そして、その夢の実現から学んだ事を自分の言葉で語っていました。この事業が、明日をしっかりと見据えながらも自分の足元を固め、着実に前に歩いて行ける子ども達を育てる自助になっている事を改めて確認できた思いでした。

皆さんの中には、これから世界や全国に羽ばたく人も居るでしょう。地域の方から送られた恩を忘れず、その羽ばたいた先で現地の人達や次世代を担う子ども達に、今度は皆さんが恩送りをしてください。出来れば、燕市に残って頑張ってくださいことも願っています。

●鈴木 力燕市長による労いの言葉



発表してくれた6組の皆さん、お疲れ様でした。

素晴らしい体験と色々なチャレンジをして、達成感と満足感のある発表だったと思います。

きっと、小学生は中学生や高校生の発表を見て、こんな風になりたいなと思ったのではないかと、中学生も高校生の発表を見て同じような感想を持ったのではないかと思います。また、高校生は自分の小学生時代と比べ、自分はある風だったのだろうか、今の小学生はすごいなという思いで発表を聞いていたのではないかと思います。そういった意味でも、この報告会自体がすごく意義があるものになっていると思います。

今回のそれぞれのチャレンジ、そして今日の発表を良いきっかけにして、まさに世界へ、全国へ、羽ばたいて行ってもらいたいと思います。燕市はこれからも、皆さんの成長をずっと見守っていますので頑張ってください。



## 燕市の魅力を世界へ！！PR



【団体名】吉田高校美術部

【代表】後藤 雅結

<p>活動の目標</p>	<p>燕市の自然や観光資源を掘り起こし、地域内外の人に向けて発信する。</p>
<p>活動の内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• PR動画を制作した。</li> <li>• にいがたデジタルコンテンツ推進協議会が実施している「にいがたデジコン」に、自分達が撮影した画像作品を応募した。</li> <li>• 画像ソフトを取り入れたトランプを制作した。作成したトランプについては、近隣の保育所等に寄贈する予定。(37個)</li> </ul>
<p>活動の成果</p>	<p>PR動画、トランプともに報告会に向けて作品を制作したところまで。今後、PR動画の活用方法を検討する。トランプも保育所に配布後、子どもと触れあう場を検討する。</p>
<p>これからの目標</p>	<p>トランプ配布の準備として、インターンシップ先の燕市子育て総合支援センター「すくすく」と、燕市立よしだ保育園を訪問する。また、赤ちゃん交流会で連携している燕市白山町児童館に配布先を相談する。</p>

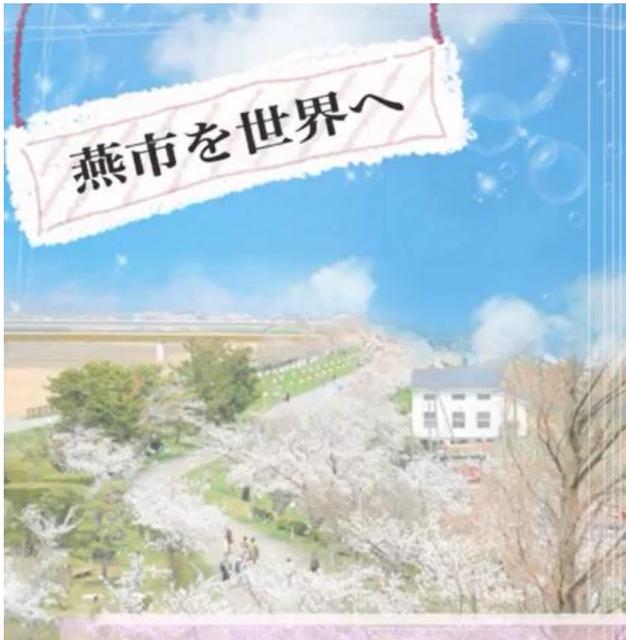
経過

- 7月：計画と分担
- 8月：写真撮影
- 9月：デジタルコンテンツ 1作品を出品
- 10月：写真保存と動画の試し制作
- 11～12月：写真撮影  
トランプの絵と写真の選択
- 1月：写真使用の許諾  
11店舗、燕市観光協会、燕市役所  
1月5日 完成

デジタルコンテンツ出品作品



PR動画



トランプ



## 糸半（いとはん）プロジェクト ～企業の魅力発信バージョン～



【団体名】 小池中学校 生徒会本部  
 【代表】 星野 司

<p>活動の目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・糸半プロジェクトを通して地域の方々へ恩返しをする。</li> <li>・地域の方々と顔と顔が見える関係となるようにする。</li> <li>・地域の企業の魅力を発信することにより、企業と学校の結びつきを強める。</li> </ul>
<p>活動の内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・株式会社アベキン、株式会社青芳、株式会社カンダ、大岩彫金の社長様から、全校生徒に講話をしていただいた。</li> <li>・卒業生のフルーリストソングライターの本宮様、酒井ファミリークリニック院長様から全校生徒に講話をしていただいた。</li> <li>・糸半新聞とポスターを作成し、市内の公民館、道の駅国上、燕三条駅ウイング、三条燕地場産業センター、表参道・新潟館などに設置した。</li> <li>・地域クリーン作戦などの他、地域防災訓練では、3年生が防災グッズづくりを地域の皆様に発表した。</li> </ul>
<p>活動の成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・糸半プロジェクトによる地域との結びつきが評価され、平成30年度1.17 防災未来賞「ぼうさい甲子園」において奨励賞を受賞した。</li> <li>・糸半プロジェクトで頑張っているねと声を掛けられるようになり、糸半プロジェクトが地域の人々に広く知られるようになった。</li> <li>・防災訓練では、3年生が防災グッズを作って説明をした後に地域の人々から拍手をいただき、とても嬉しかった。</li> <li>・クリーン作戦やチューリップの球根植えなどのボランティア活動に、たくさんの生徒が参加した。</li> </ul>
<p>これからの目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社長さんから、学校が防災に力を入れているので、会社としても何かしていかなければならないと言われた。これから、さらにたくさんの企業と結び付くことで防災訓練の協力をお願いしていきたい。</li> <li>・3年生が行った防災グッズ作りを受け継ぎ、地域の人々と一緒に作れるようにする。</li> <li>・中学生として何が出来るか相談し、糸半プロジェクトを発展させ、糸半を小池中学校の代名詞にしていきたい。</li> </ul>



**糸半プロジェクトとは？**  
 プロジェクト名の由来・・・  
 「小池中生」と「地域の方々」が  
 縦と横の関係を築く  
 お互いの「絆」を深める！

小池中生 が「たて糸」  
 地域の方々 が「よこ糸」  
 ⇨ お互い編み込み「絆」が深まる



## 分水路サミット～荒川放水路の学びと大河津分水の発信～



【団体名】分水路サミット実行委員会

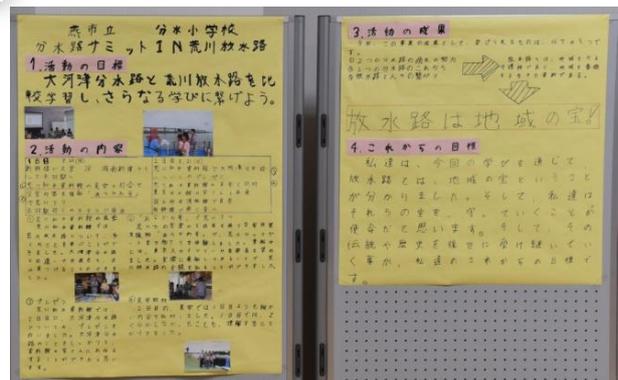
【代 表】大内 幸澄

<p>活動の目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大河津分水と他の分水路を比較することで、大河津分水の大切さを再認識する。</li> <li>大河津分水の素晴らしさを他地域に暮らす人々へ発信する。</li> </ul>
<p>活動の内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの学習で学んだ青山土が建設に携わった荒川放水路を見学し、果たしてきた役割を理解するとともに、大河津分水路と比較し、それぞれの特徴をまとめて理解を深めた。また、荒川放水資料館で学んだことをもとに、実際に荒川放水路を見学し、理解を深めた。</li> <li>さらに、大河津分水についての資料をまとめ、荒川放水路沿川の方々に発信した。まとめとして、リーフレットを作成し、燕市に再発信した。</li> </ul>
<p>活動の成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>分水路の目的は同じでも地域によって違いがあることを理解できた。また、船に乗って見学できたことで荒川放水路のスケールの大きさを実感することができた。</li> <li>比較学習によって、大河津分水路の大切さを再認識することができた。また、リーフレットを作成することができた。</li> </ul>
<p>これからの目標</p>	<p>スタートは総合的な学習の時間での学びだった大河津分水路。カルタを作成したり、DVD への出演、テレビ局の取材を受けたりしてきた。これからも、燕市民として、大河津分水路を地域の宝として発信していきたい。今後、中学校に進学するが、学校での学習だけではなく、地域の一員として様々なことを学んでいきたい。</p>

# 荒川ツアーの概要

8月20日～21日

- 1日目 荒川知水館の見学  
荒川を船上から見学
- 2日目 1日目の見学の感想発表  
荒川知水館で大河津分水路の学びについてのプレゼン  
東京分水会の皆さんとの昼食会  
国立科学博物館の見学



## 自分たちで創る燕市 PR 海外研修



【団体名】 OUTDOORS

【代 表】 落合 知奈

<p>活動の目標</p>	<p>語学力の向上や異文化理解だけでなく、海外の人に燕市を PR する。そして、留学を通して燕市の良さを発見する。</p>
<p>活動の内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Emmanuel Catholic College に訪問した。</li> <li>• Aubin Grove Primary School にて日本語の授業に参加し、燕市の PR をした。</li> <li>• フリーマントルで市街地インタビュー；燕市に関する質問を実施した。</li> </ul>
<p>活動の成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 語学力の向上。</li> <li>• 留学エージェントの仲介を一切通さなかったため、より大きな達成感を得ることができた。</li> <li>• 燕市の印象など海外の人から直接意見を聞くことができた。</li> <li>• 自分たちの力だけで行動する“自立”を得ることができた。</li> </ul>
<p>これからの目標</p>	<p>英語が話せるのは当たり前で、日本を出ればそれは武器にならないと痛感した。その英語を使って、「自分たちは何をするのか」が求められていると分かった。この経験で大学で学びたいものや就きたい職業への見方が大きく変わった。</p>

## 留学前の国内での活動

◎ササゲ工業で工場見学、研磨作業の体験

◎燕市のPR活動のプレゼンテーション作り

◎燕商工会議所さんとの連携



1つ目の現地校



2つ目の現地校



現地校でのプレゼン



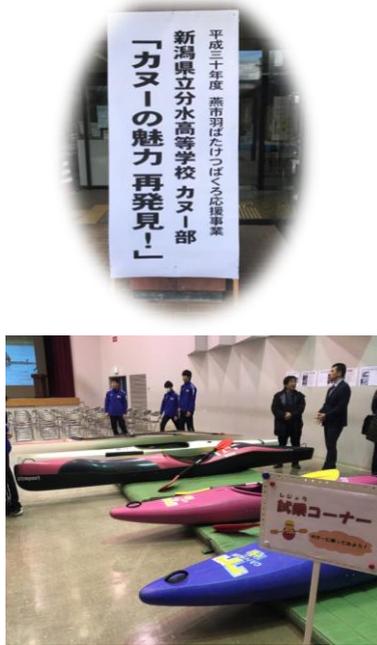
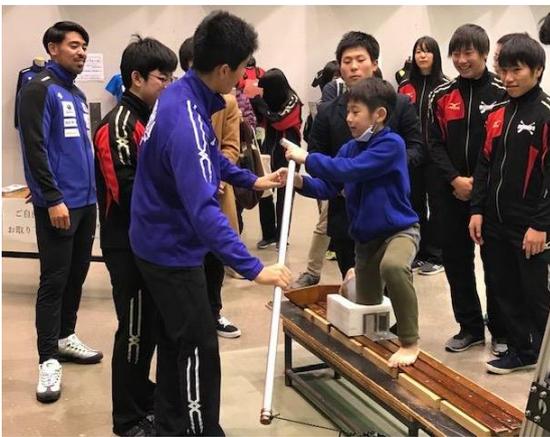
## カヌーの魅力 再発見！



【団体名】 分水高校カヌー部

【代表】 青木 風雅

<p>活動の目標</p>	<p>分水高校カヌー部の活動とカヌーの魅力を、もっと多くの地域の方々に知ってもらおう。</p>
<p>活動の内容</p>	<p>12月15日（土） 分水公民館においてイベントを開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カヌー部プロモーションビデオの上映。</li> <li>・実業団選手（當銘孝仁選手、本多圭選手）とカヌー部員によるトークショーを実施。</li> <li>・カヌー体験（会場に練習マシンを設置し、乗艇・パドリング体験をしてもらった）。</li> </ul>
<p>活動の成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実業団選手のアスリートとしての言葉がカヌー部員の心に刺さり、モチベーションアップにつながった。</li> <li>・来場した方々、体験をしていただいた方々に、競技だけにとどまらない多様なカヌーの魅力を伝えることができた。</li> </ul>
<p>これからの目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・可能であれば、来年度も同じテーマで、イベントを開催したい。</li> <li>・もっと暖かい時期に開催し、小学校や中学校への事前 PR を工夫することで、イベントをさらに盛り上げたい。</li> </ul>



## 英国の文化&語学研修



【団体名】 Chestnuts

【代 表】 片桐 杏

<p>活動の目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 異文化理解を深める。</li> <li>• 英語力の向上。</li> <li>• 燕市の PR をする。</li> </ul>
<p>活動の内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 異文化理解のために、ブリティッシュヒルズを訪問した。</li> <li>• カリグラフィーのレッスンで、英国で使われている「美しい書体」について実際に学んだ。</li> <li>• マナーハウスでは、英国の人々がどのように暮らしているかを学んだ。</li> <li>• 燕市の PR を行った。</li> </ul>
<p>活動の成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 授業の一環で行く研修とは違い、何から何まで自分たちでしなければならなかったため、個々の判断力が試される場面が何度かあった。</li> <li>• 普段と違う環境での英語のレッスンだったので、たくさん刺激を受けた。</li> </ul>
<p>これからの目標</p>	<p>英語や異文化について学べたと同時に、自分たちでの判断力や積極性の大切さを知った。それを、今後に活かしていきたい。</p>



～ブリティッシュヒルズ～



# 英国の文化&語学研修

Chestnuts



～カルチャーレッスン～



～マナーハウス～

